

大会名称: 第25回東北大学バスケットボールリーグ
兼全日本大学バスケットボール選手権大会 東北地区予選会

開催場所: 青森中央学院大学第2体育館
試合区分: No. 0830B2 1次リーグ女子
期日: 2024/8/30(金) 主審: 田村高光
開始時間: 15:00 副審: 今正之
副審: 堀内大

<p>東北学院</p> <p>一部1位</p>	<p>○</p> <p>137</p>	<p>●</p> <p>46</p>	<p>岩手</p> <p>一部6位</p>
-------------------------	---------------------	--------------------	-----------------------

東北学院大学

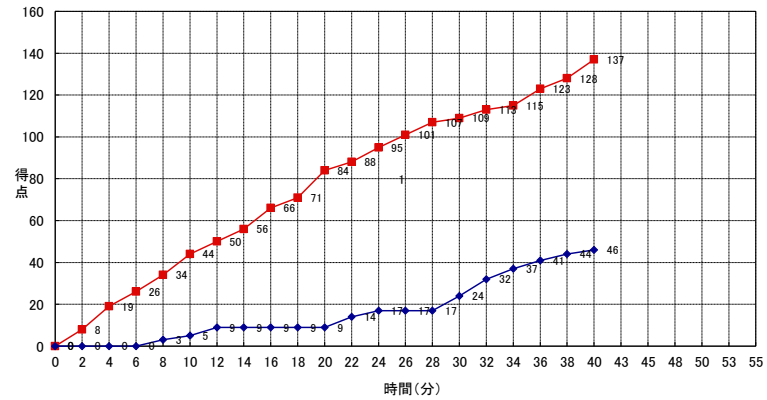
No.	S	選手名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS			AS
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT	
2		加藤 瑞紀	7	1	1	2	2	0	0	0	0	0	0	4
1		相原 祐海	13	1	4	5	8	0	0	1	3	4	7	5
3		佐藤 杏	19	3	6	5	5	0	0	0	4	1	5	3
5		斉藤 花帆	5	1	1	1	2	0	0	1	0	0	0	0
7	*	高橋 柊	6	0	0	3	4	0	0	0	0	0	0	0
8		武田 侑樹	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	*	高橋 ゆら	0	0	0	0	4	0	0	0	1	0	1	1
10	*	石田 侑真	4	0	0	1	2	2	2	0	0	1	1	0
11		原田 瑠璃奈	10	0	2	5	9	0	0	2	1	3	4	6
15		橋本 京花	14	2	6	4	3	0	0	0	0	1	1	2
23	*	工藤 未羽	5	1	1	1	4	0	0	0	3	1	4	3
25	*	鎌田 真凜	11	1	1	4	5	0	0	0	3	2	5	3
26		秋庭 愛花	20	0	0	10	18	0	0	0	5	3	8	2
27		菅井 華	23	3	9	7	10	0	0	1	3	2	5	3
32		白戸 彩希	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
TEAM											0	0	0	
合計			137	13	31	48	76	2	2	5	23	18	41	32
				41.9%	63.2%	100.0%								

岩手大学

No.	S	選手名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS			AS
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT	
###	*	松尾 彩加	6	2	9	0	1	0	0	0	0	0	0	3
24		山根 愛絵	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17		稲村 朱音	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18		阿部新菜	2	0	0	1	2	0	0	0	1	4	5	0
19	*	増田 里央	4	0	0	2	7	0	1	0	1	6	7	0
23	*	山下 結生	22	3	7	5	5	3	3	2	0	1	1	2
31		大山和奏	0	0	0	0	3	0	2	0	0	5	5	1
78	*	藤井 優依	9	0	0	4	8	1	1	0	3	2	5	1
00	*	西川 恵生	3	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0
TEAM											0			
合計			46	6	17	12	28	4	7	2	5	18	23	7
				35.3%	42.9%	57.1%								

PTS: ポイント
M: 成功
A: 試投
%: シュート率
FG: フィールドゴール
3P: 3ポイントシュート
2P: 2ポイントシュート
FT: フリースロー
F: ファール
OR: オフenseリバウンド
DR: デフェenseリバウンド
TOT: トータルリバウンド
AS: アシスト
S: スターター
OT: 延長

得点経過



ゲームレポート

○第1クォーター
学院大がディフェンスで仕掛け、学院2番と25番を中心にブレイクから点数を重ねる。岩手大は24番を軸としたオフェンスで、攻めるも学院大のオールコートプレスに苦む展開となった。

○第2クォーター
1Q同様学院大はオールコートプレスを継続し、3番、11番のプレッシャーやスティールで走る展開を作り出し得点を重ねる。岩手大は学院大のオールコートプレスに苦戦する展開が続くが23番、24番を中心にアウトサイドシュートで繋いだ。

○第3クォーター
岩手大はゾーンディフェンスを仕掛けるも、学院大9番を中心にパス回しでゾーンを攻略し点数を重ねる。3Q終盤、岩手大23番を中心に1on1から得点を重ね、点差を縮める。

○第4クォーター
学院大は3番、23番のアウトサイドシュートが確率良く決まり勢いに乗ると、26番の献身的なゴール下での活躍もあり、点差を大きく広げた。岩手大は、18番、19番がリバウンドで繋ぎ、23番、24番を中心にシュートを決め勢いに乗る。

○総評
学院大は終始、ディフェンスから流れを作り、中外どちらからも点数を伸ばした。岩手大は、後半個人技でスリーポイントから流れを作り点数を伸ばした。